

おぢや震災ミュージアム「そなえ館」について

おぢや震災ミュージアムそなえ館（以下、そなえ館）は、中越大震災の被災状況と復興の様子を次の世代に残し伝えていく「中越メモリアル回廊」の一施設として、（公財）新潟県中越大震災復興基金（以下、復興基金）の支援を（公社）中越防災安全推進機構（以下、機構）が受け、平成 23 年に小千谷市民学習センター内にオープンしました。

平成 29 年には、震災発生の様子をリアルに再現する MX 4 D（エムエックスフォーディー）シアターを全国に先駆けて導入するなど展示内容を大幅に刷新し、体感して学ぶことができる施設としてリニューアルオープンしました。

令和 2 年度以降は、これまで運営主体であった機構から、（一財）小千谷市産業開発センター（以下、産業開発センター）に引き継がれ、小千谷市と協力しながら管理運営を行う形態となっています。

現在建設中の（仮称）小千谷市防災センター内にそなえ館を移転し、公園、建物の管理運営と 1 つにまとめることにより、これまでの展示・体験内容に加え、小千谷市防災公園の屋外設備や（仮称）小千谷市防災センターが持つ災害時の機能と一体となった防災学習施設としての活用・充実を目指しています。

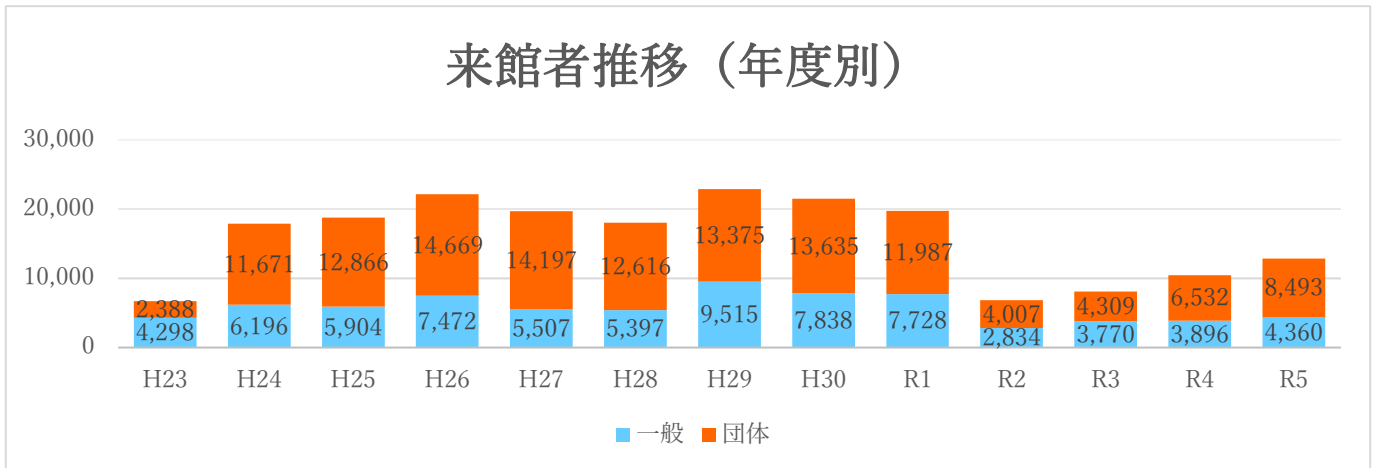
1. 現在の運営概要

- 運営主体 （一財）小千谷市産業開発センター
- 事業費 24,187 千円（令和 5 年度実績）
- 財源 小千谷市補助金（23,409 千円）及び自主財源（778 千円）
- 運営体制 4 名（施設長 1 名、職員 3 名）
- 業務概要
 - ① 施設管理
施設環境の維持、地震動体験機器のメンテナンス等
 - ② 展示の充実
展示物の製作、配置／特別展示の実施
 - ③ 見学及び視察研修対応
地震動体験のガイド、機器の操作／団体見学・視察、出前授業・講座への対応
 - ④ 防災学習体験プログラムの提供
有料プログラム（語り部講話、グループワーク・クロスロード、防災工作等）
 - ⑤ 各種事業の実施
子ども向け定期イベント、防災キャンプ、防災リーダー研修
 - ⑥ 小千谷市産業開発センターとの連携
ミュージアムショップ商品（防災グッズ・観光おみやげ）の販売

【参考】そなえ館ホームページ URL <https://www.ojiyasunplaza.jp/sonae/>

2. 来館者推移（年度別）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
一般	4,298	6,196	5,904	7,472	5,507	5,397	9,515	7,838	7,728	2,834	3,770	3,896	4,360	74,715
団体	2,388	11,671	12,866	14,669	14,197	12,616	13,375	13,635	11,987	4,007	4,309	6,532	8,493	130,745
合計	6,686	17,867	18,770	22,141	19,704	18,013	22,890	21,473	19,715	6,841	8,079	10,428	12,853	205,460



※来館者推移のうち、団体には主催イベントの参加者数（396人）を含む

3. 団体利用内訳（令和5年度）

区分	団体数	エリア別			人数
		市内	県内	県外	
学校	71	17(24%)	49(69%)	5(7%)	4,595
一般	186	14(8%)	58(31%)	114(61%)	3,502
計	257	31(12%)	107(42%)	119(46%)	8,097

※主催イベント参加者数（396人）は含まれない

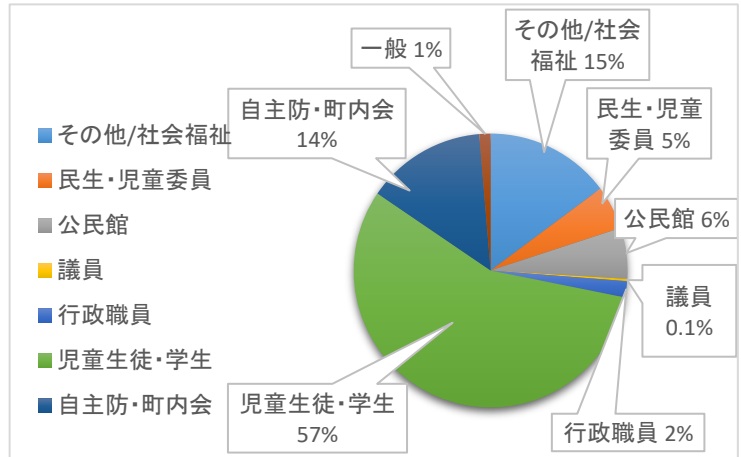
4. 出前講座実施数（令和5年度）

区分	団体数	人数
学校	14	2,481
一般	6	119
計	20	2,600

※上記3の内数

5. 団体種別ごとの人数・構成比（令和5年度）
（来館・出前講座参加人数）

種別	人数
自主防災組織・町内会	1,146
児童・生徒・学生	4,563
行政職員	155
議員	22
公民館	487
民生・児童委員	418
一般	108
その他	1,198
計	8,097



6. 有料プログラム申込実績（令和5年度）

52 団体 939,698 円（出前講座・交通費 17,089 円を含む）

【プログラム基本料金】

- ・語り部講話、グループワーク・クロスロード等： 1,000 円/人（税込）
- ・防災工作： 200 円/人（税込）

7. 事業費支出内訳（令和5年度）

参加申込みいただいた事業者へ別途開示します。